

波多津町ガイドマップ

1 波多津漁港



伊万里市で唯一の漁港であり、また漁業基地として近海でとれた魚介類や養殖の鯛・ハマチ・車エビなど新鮮な海の幸を水揚げしています。

2 港まつり



田嶋神社の秋祭りに合わせて開催され、会場の漁港周辺には捕れたての魚介類が所狭しと並びます。その場で賞味することもでき、毎年たくさんの人で賑わいます。

3 田嶋神社(畑津)



宗像三女神を祀り、伊万里市で唯一の国指定の重要文化財です。本殿は、柿葺き・三間社流見世棚造という建築で、中世の社殿様式を伝える重要な建造物です。

4 秋祭り

10月17日は田嶋神社のお祭りです。田嶋様はこの日、浜(浦区)のお旅所までご神幸されます。また祭り囃子も賑やかに、子供たちに曳かれた山笠の「鯛やま」が地区内を巡り、祭り気分を盛り上げます。

5 高尾山公園



玄海国定公園内にあり、長崎県の福島やすばらしい景観の「いろは島」を遠望することができます。また、桜の名所としても有名です。

6 金毘羅宮

玄海国定公園内の高尾山山頂に祀られ、航海安全の守り神として人々の信仰を集めています。「金毘羅」は、梵語で鯛の意味であり、仏法を守る神々の一つといわれています。

7 精霊流し(浦)

旧盆15日の深夜祖先の霊を送るため、精霊船が漁船に曳航されます。たくさんの提灯で飾られた精霊船は、打ち上げ花火の光で、鮮やかにその姿を現します。

8 法行城址



戦国時代、波多氏の一族古河越前守保により岸嶽城の出城として築られました。波多氏の滅亡で廃城となりましたが、時の城主久我玄蕃の末裔である坂本篤郎氏の援助により整備され、当時の様子を伝えています。

9 田嶋神社(板木)

板木に法行城が築城されたとき、その鎮守神として創建されたと伝えられています。神社の第一鳥居の側には六地藏があり夏には地藏まつりが行われています。

10 亥の子づき



旧暦十月の初めての亥の日に、豊作と家々の繁栄を願い行われます。地区の子どもたちが、直径20センチほどの石に「かんねかづら」を巻いて固定し、家々を回り「石づき音頭」を歌いながら石づきをします。

11 石仏十六羅漢



津留の山中の巨岩の下陰に、16体の石仏が安置されています。表情も豊かな羅漢像は、19世紀の初め祖先の追善供養のため造られたと伝えられています。

12 郷組の墓

唐津藩主寺沢志摩守により置かれた「郷組」は、領内の治安、海や山の監視や警備を役目としました。明治維新まで続いた代々の墓が林の中にひっそりと建っています。

13 もぐら打ち



田畑を荒らすもぐらの害を防ぎ、果物の豊作を祈る伝統行事で1月14日の晩に行われます。竹の棒の先に藁を葛で巻き付けた「もぐら打ち棒」を作り、子どもたちが家々の庭先で歌にあわせて地面を叩きます。

14 馬蛤潟新田二百年祭記念の碑

唐津藩の政策で宝永3年(1706年)より始まった干拓工事(耕地面積約21町歩)の200年を記念して建立されました。

